

天天中文シリーズ講座：中国語でキャリアアップ！

「中国語でキャリアアップ！」は中国でキャリアを発展させる各界の方々に、仕事の現場や中国語学習法についてお話を伺う「天天中文」のシリーズ講座。中国の各界で活躍する皆さんに、仕事や生活のリアル体験をお伺いします！

第5回（2022年1月29日）ゲスト：

金曙光（きん しょうこう）さん

（略歴）

1967年生まれ、黒竜江省ハルビン市出身。1990年中央民族学院音楽学部卒業。1995年東京学芸大学音楽学部留学、その後東京池袋で5年間飲食店経営、期間中多くの日本人と出会い、日本社会、習慣、価値観に対する理解を深める。2005年帰国後現在に至るまで食品会社、インテリア設計事務所、日本料理店などに勤務。

<お話の流れ>

暮らしてみた日本/最近の中国の変化/朝鮮族と漢民族/コロナ下の北京の暮らし/出身地ハルビンの人気料理は/日本で一番驚いたこと

金：みなさん、はじめまして、金曙光と申します。今日をご招待いただきありがとうございます。今日はみなさんと楽しくお話できればと思っています。簡単に紹介しますと、僕は北京で大学を卒業して、民族学院で音楽を勉強しました。卒業してから1995年に東京学芸大学に留学させていただいて、なぜかそのあとに東京の池袋で飲食店をしながら日本で生活していました。そのあと北京でいろんな仕事をしました。通訳を担当したり、最近では日本料理を教える仕事もしました。中国人の学生さんに日本料理を教えたりもしています。今日はよろしくお願ひします。

暮らしてみた日本

天天中文：金さんはお生まれはどちらですか？

金：僕は黒竜江省のハルビンの生まれです。今でもマイナス30℃にもなり、子供のころはもっと寒かった気がします。

天天中文：金さんは、朝鮮族の方ですよね？そして日本に約10年暮らして、戻ってからも日本とは仕事関係でもずっとつながりがありますよね。日本語は大学時代にも勉強していたのですか？

金：日本語は日本に行ってからです。実は恥ずかしいのですが、日本語をちゃんと勉強したことはないです。

天天中文：音楽がうまい人は語学もうまいっていいですからね。実は金さんが音楽家だとしてしたのはつい最近で。金さんが演奏している動画をみてびっくりしたんです。……そういうことで日本と関係の深い金さんですが、日本は最近、元気ない、といわれますが、金さんは日本人のことをどう見えていますか？

金：日本人は特に真面目ですよ。仕事はしっかりしますね。

天天中文：本音のところ、日本人のここが問題だよね、と思うことはありませんか？

金：うーん、特にないですね。ただ距離的に近いですけど、日本に行ってみたら考え方や習慣がだいぶ違うなあ、とは思いました。だから、ここで偉そうに言えないんです。

最近の中国の変化

天天中文：そうですね。そもそもしょっている文化が違うからここがいいとか、悪いとか、簡単に言えない、ということですね。それでは最近の中国についてはどうですか？変化などありますか？

金：ああ、ありますね。人のファッションや考え方も昔とだいぶ違いますよね。最近の中国は豊かになって、みな海外へ行って海外のいいものなどを勉強していて、特に若い人たちは凄いいと思います。

天天中文：でも、海外から帰ってくると、いわゆる「外国かぶれ」のようにふるまっている人は少なく、意外ときっちり中国の型にはまる人が多い気がします……。

金：でも若い人は少しずつ変化があると実感します。自分も含めて。マナーに関しては特に少しずつ良くなっていますよね。礼儀正しくなったり、昔のような乱暴な言い方や行動は減っていますよね。特に都市の若い人は。

天天中文：そうですね。昔の中国では地下鉄なども並んでいる人など一人もいませんでしたが今はちゃんと並んでいて、並ばない人はほとんどいないですよ。どうでしょう、逆におとなしくなっているという気はしませんか？

金：そうでもないですね。僕のまわり、特に都会の若い人は、海外の情報もたくさん入り、実際に海外にいったりもしているので新しいもの、いいものをしっかり勉強していますね。

天天中文：でも、そういう若者は中国全体から見たらごく少数なんではないですか？

金：でも、いま中国は留学生の数も多く、増えていますし。

朝鮮族と漢民族

天天中文：ここでちょっと話は変わりますが、朝鮮族の人と漢民族の人はタイプがだいぶ違うのではないですか？

金：確かに生活習慣が違いますよね。例えば、僕はキムチを食べるし、キムチは母の得意料理でした。でも、いまは若い漢民族の人たちも結構食べたりしていますよね。

天天中文：朝鮮族と漢民族との間のあつれきがありますか？

金：「君は朝鮮族だから」と言われたりすることもありました。でも最近は、中国のなかでは仲良くなってきていると思います。

天天中文：日本の報道をみていると、中国は日本のことを悪くいっているというのがよく見かけられるのですが、中国国内は実際はそうでもないのでしょうか。

金：あまり感じないですね。

天天中文：そうですね。私もいま大きな団地に住んでいるんですが、日本人だから、とって全然関係ないですね。この間も見知らぬおばさんに話しかけられて「ホカロン」を見せられて、「ここの、後ろに書いてある製品説明を翻訳してもらえない？」と言われたり。

金：そうですね、いま生活のなかに、日本の製品、日本の要素もたくさん入っていますし、それが日本、韓国、アメリカ製だからといって違和感ないですよ。

天天中文：私たちも北京で暮らしていて、たまに、1年に1回くらい、なにか言われたりするくらいでほぼ何もありません。話はまた変わりますが、最近、北京では新型コロナのオミクロン株の感染者が見つかっていて、僕の住む団地でも住民全員対象のPCR検査が行われたり、厳しい対策がとられています。僕らからするとちょっとやりすぎじゃないの、と思うこともあるのですが、金さんはいかがですか？

コロナ下の北京の暮らし

金：それはいろんな要素があるからそうになっているかと思うのですが、やりすぎと思うこともあります。移動にはPCR検査が必要なが多いのですが、毎回、検査にお金もかかりますし。僕が前回検査した時は1回35元（約630円）でした。

天天中文：私がこの間受けた時は8元（約144円）でした。団地の住民全員の時は無料でした。

金：僕は最近よく、（北京市に隣接する）廊坊市に行くんですが、北京に戻るたび自費でPCR検査をしないといけないんですよ。ここにも各国の考え方の違いがあると思います。

天天中文：面子もあるのでしょうか。面子といえ、言葉は同じでも日本と中国ではその意味がだいぶ違うように思います。中国語の「没有面子」＝「面子がない」というのは、相手に申し訳ない、あやまらなければならない事態を指すより、「相手にあやまる」こと自体が「面子がない」、みっともない、のように。

金：そうですね。だからあまりあやまらないですよ。特に偉い人。

天天中文：そうすると、お付き合いするときも相手を追い込んであやませるようなことをしないほうがいいですね。……というように習慣や考え方の違いがいろいろありますが、どうでしょう、金さん、コロナが終わると日本からもいろんな友達が中国にやってくると思いますが、おすすめの旅行先をもしあげるとするとどこになりますか？

金：自分的にはチベットとシルクロートですね。人生一度は行くべき場所だと思っています。僕も一度は行きたいと思い、21年の夏にチベットにでかけました。

天天中文：金さん、いろいろなお話、ありがとうございます。それでは会員の方、なにか金さ

んに質問があればお願いします。

出身地ハルビンの人気料理は

会員：ハルビンのおすすめ料理を教えてください。

金：「鍋包肉」ですね。これがナンバーワンでしょうか。肉を小麦粉で包んであげ、甘酸っぱい味付けにします。北京でも人気があるんですよ。ハルビンで生まれた料理です。

天天中文：ハルビンにはロシア人も多かったので、もしかしてこの料理にはロシア料理から影響されているのでしょうか？

金：それはないと思いますね、ハルビンの地元の料理です。あとハルビンのソーセージも人気です。

会員：「鍋包肉」、朝鮮族の料理だと思います。私は延吉市（吉林省延辺朝鮮族自治州）に留学していたのですが、そこでよく食べていました。

会員：私も大連に留学したのですが、その時によく食べていました。甘酸っぱくて日本人の口にあいますよね！とってもおいしいです。

日本で一番驚いたこと

会員：金さんに質問ですが、日本に来た時に驚いたことって、どんなことですか？

金：そういえばありますね。僕は95年に日本にいったんですけど、そのころ地下鉄サリン事件が起きて、その後、麻原彰晃を逮捕するテレビ中継があったんです。逮捕した彼を乗せて東京に戻る時、たくさんのパトカーが走っていて、高速に入る時に料金を払ったんです。それを見てびっくりしたんです。中国だったら考えられないことですね。なぜパトカーが高速料金まで払うのか。中国だったら無条件、無料で通過ですよ。それは、この国ではルールはルールなんだなあ、と衝撃でした。

会員：中国では救急車も有料ときいたことがあります。

金：そうですね。料金がかかります。結構高いです。僕も母が入院した時、払いました。しょ

うがないですね、自分で行けないから。日本はタダなんですか？

会員：日本はタダですよ。

会員：では、中国では救急車はあまり走っていないのですか？

金：いえ、走ってますよ。高い料金は社会問題にもなっていますが。

会員：逆に日本では田舎に一人で住んでいる人など、タクシー代わりに使う人もいて、それはそれで社会問題化していますよね。

会員：金さんに質問いいですか？金さんは日本語がとてもお上手ですけど、語学を学ぶ時にどのようなことを重視しましたか？

金：僕は日本語ができないまま日本にいったのですが、そこで友達ができ、そこで勉強したのが一番大きいかと思います。

会員：やはり、しゃべる、ということが重要だと思われませんか？

金：そうですね。わからなくてもひたすらしゃべる。間違うと後から友達が直してくれました。そんな感じで勉強したんです。

会員：分かりました。私もしゃべるように努力します。

金：僕も最初は言葉の意味もよく分からず、でも「こんな感じかな」と思って使っていました。自分が勝手に思い込んでしゃべっていて、そのあと辞書で調べてみたりしていました。

会員：今週末、私は餃子を作ろうと思っているんですが、おいしく作るコツがあったら教えてください。

会員：あの、お肉に下味をつける、ということはぜひやってください。私の店では塩、しょうゆ、ごま油、たまに「五香粉」で下味をつけて作ります。「十三粉」でもいいです。「五香粉」は、スーパーの香辛料がおいてあるコーナーにあると思います。「十三粉」は楽天に売っていますよ。餡は、ニラ、キャベツ、豚肉でじゅうぶんだと思います。

金：僕的には、餡のなかにちょっとショウガをいれるんですね。みじん切りショウガです。

スーパーで売っている「みじん切り」でいいですよ。

この後、さらに金さんとの交流が続きました。

文・JEIS